

令和3年6月定例記者会見要旨

開催日時 令和3年6月25日(金) 午前10時30分 302会議室

(市長あいさつ)

昨日から、市政懇談会「ゆかり市長とまちかどトーク」が始まりました。7月にかけて引き続きよろしく願いいたします。

(7月の日程説明等)

- 第54回 藤原咲平先生をしのぶ会 7月20日(火) 午前11時 藤原咲平博士記念碑前(霧ヶ峰)
- 東京国立博物館から返ってきた藤森栄一資料 開催中～8月1日(日) 諏訪市博物館
- 【原田泰治美術館】クラウドファンディング
- 教育委員会関係7月行事予定表

記者との質疑応答

○昨夜(6月24日)の大雨の状況等について

(記者) 昨夜の大雨の状況、被害状況とその対応は。

(市長) 昨日は夕方に警報が出まして集中的な雨となりました。昨年と同じ場所になりましたが、角間新田にある諏訪二葉高校第二グラウンドの上で土砂の流出がありました。昨年の土砂流出後にふとん籠や大型土嚢を設置したため、今回は市道への大きな土砂流出に至らずに済みました。今後、現場を見て対処方法をしっかりと考えなくてはならないと考えています。

(記者) 人家や倒木などの被害状況は。

(市長) 人家への被害はございませんでした。立石公園の上の辺りで倒木の報告がありましたが、県道のため長野県の方で対処されています。

(副市長) 補足ですが、角間新田の方については、発生した時刻は昨日の18時過ぎです。諏訪二葉高校の第二グラウンドの山側から土砂が脇道へ流れ込んでいると通報があり、対応したものです。概ね20時前後に土砂の仮撤去が完了し、本日、朝9時から本撤去にあたっております。昨年の8月にも同じ場所で土砂が流出したことがありまして、そのときにふとん籠設置などの対応をしてあったおかげで今回この程度で済んだという経過があります。しかしながらこのままというわけにはまいりませんので、今後の対応をこれから考えていきたいということです。時間雨量最大は昨夜20時前後に確認をしたところ1時間22.5mmでした。沢の名称は一ツ家堰です。

○国道 20 号諏訪バイパスについて

(記者) 国道 20 号諏訪バイパスについて市長の考えは。

(市長) 諏訪バイパスには、非常に長い歴史があります。六十数年前に諏訪地域に国道のバイパスが必要ということで取り組みまして、昭和 48 年に一旦ルートが決定しましたが、様々な経過がございまして途中進まなくなっていたものです。その後、岡谷や茅野の坂室ですとか、一連の広域における国道の整備が順次進んでまいりまして、現在は下諏訪の 142 号線から諏訪市の飯島の交差点の区間が未整備となっています。その後、平成 25 年に国の計画段階評価の調査箇所を選定され、大きく前進が図られることになりました。計画段階評価では、諏訪地域の課題や必要性について調査が行われ、また、市民に対するアンケート調査では、市民の約 8 割、事業者の約 7 割の方がバイパスが必要と回答しています。これらの計画段階評価の調査結果を受けて「山側ルート」に決定しました。そのルートの発表と、構造原案とともに、環境アセスメントの結果報告である環境影響評価準備書の公告・縦覧が今年 3 月に行われました。こうした大きな流れの中で説明会を市内で 6 回開催したほか、各地区のご要望に応じて追加で何度か説明会を行いました。その中で環境に対して、主に水象について心配の声などが聞こえてきております。県の技術委員会の環境に関する専門家の皆さんによる審議も始まっています。環境アセスメント調査、ルート、構造に対して、皆さんのご意見をお伺いして、それを受けて私から知事に意見書を出し、知事が国へ、という段階的な手続きが決まっているわけです。今の時点で、色んな心配をお持ちの方や疑問に思っている方もいらっしゃるので、丁寧に情報共有を行って、また伝えるべきものは伝え、配慮してもらいたいことは配慮してもらいながら進んでいくことを期待しています。

(記者) 市長からの意見書を出す時期はいつ頃か。

(市長) 県や国に質問書が沢山の市民の方から出されました。これに対して県が見解書を出すことになっています。その見解書が市へ届いてから 30 日以内に意見書を出すこととなります。県からの見解書がいつ来るかという情報を現時点ではいただいておりますので、わかり次第ということでお願いします。

(記者) 現道についての考えは。

(市長) 6 市町村で構成している期成同盟会では、現道の改修や整備の要望書をまとめています。逐次、長野国道事務所に対応していただいております。最近の大きな工事では、赤羽根の踏切を改良していただきました。歩道もなく非常に危険だということで、長いこと地元から要望をいただいておりますが、道路の両側に歩道をつけていただき、なだらかな踏切へと改良していただきました。地元の皆さんのご要望でしたので、迂回路にもご理解をいただき、踏切を通行止めにして短期間に完成していただきました。そうした国道の維持管理については、継続してお願いし

ております。なお、7月15日に諏訪郡市国道20号改修・バイパス建設期成同盟会の総会があり、ここで今年度の事業計画等が出されていきますのでご取材いただければと思います。

○製造工場からの廃液流出について

(記者) 茅野市にある製造工場から銅や鉄を含む廃液が流出した問題があったが、諏訪市側の受け止めと、会社側から流出した廃液にどのような物質が含まれていたのかなどの情報は入っているか。

(市長) 現時点で私のところには報告はあがってきておりませんので、環境課に確認をしたうえでお答えしたいと思います。

(記者) その廃液が、上川ですとか諏訪市側の用水路に流れている可能性もあるということですが、その件については。

(市長) 水質の管理につきましては、県と茅野市が第一義的に対応されていると思いますので、その報告や情報共有を待ってのコメントにさせていただきます。現段階ではコメントできるソースをもっておりませんのでご理解ください。

○東京五輪について

(記者) 東京五輪に対する市長の受け止めは。

(市長) 世界中がまだ新型コロナウイルス感染症と闘っている最中での五輪の開催となりました。感染拡大防止にみんなで力を合わせて取り組むことが開催のための大前提になります。その上で、選手の皆さんにとっては今まで積み上げてきた成果を発揮する最大のステージです。そうした気持ちも慮りますと、また、私たちはいつもスポーツから元気や勇気もらっているわけですので、選手の皆さんたちには素晴らしい試合を展開していただくことを期待しています。世界で初めての感染症下での五輪になると思います。なんとか成功裏に収まるように、できることを協力したいという気持ちでおります。